

特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会

【本部】〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-1-1
JR 東急目黒ビル 7F
Tel.(03)5435-5977 Fax.(03)5435-5978
Email:yunnan@jyfa.org
URL:http://www.jyfa.org
【雲南事務局】雲南省昆明市拓東 45 号世博大 2605 室
Tel.+86-871-3188468 Fax.+86-871-3188468
編集・発行人 初鹿野恵蘭
印刷協力 (株)日経印刷 (株)技術評論社



Japan Yunnan
Friendship Association

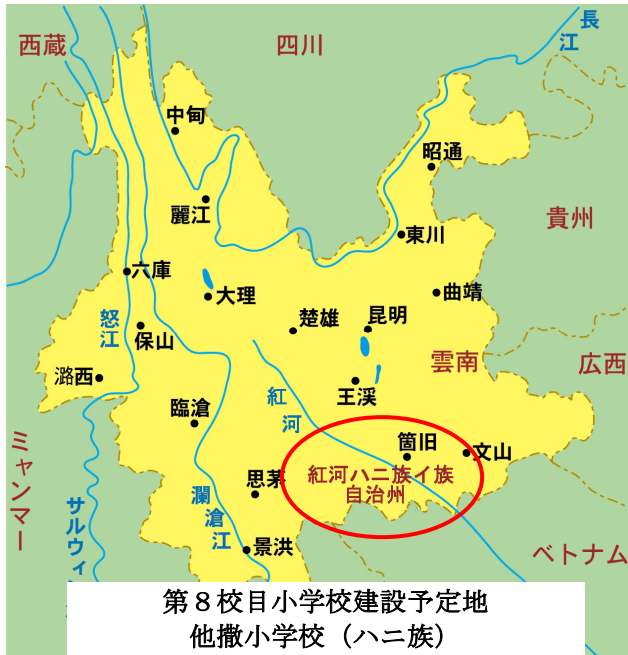
彩雲の南

第16号

会報

発行日 2005年(平成17年)7月1日

雲南省紅河ハニ族イ族自治州他撒小学校視察の報告



第8校目小学校建設予定地
他撒小学校(ハニ族)

他撒小学校基本データ
所在地 雲南省紅河ハニ族イ族自治州他撒村
児童数 410名(うち半寄宿生80名)
教職員数 18名



教室で。ハニ族の衣装をまとった元気いっぱいの児童たち

第8校目小学校建設地が決定！ 理事長 初鹿野恵蘭

協会の大きな柱である、雲南省の25の少数民族にそれぞれ2校ずつ小学校を建設するプロジェクトも、皆様に支えられて7校目がこの夏、完成しようとしています。

皆様にもうひとつ喜ばしいお知らせがあります。この度、ひろしま祈りの石国際教育交流財団より助成金を受け、第8校目の支援を決定しました。私と北原茂実理事、協会関係者の5名と、雲南省華僑連合会関係者が同行し、昆明から車で5時間、高速道路を走り、雲南省南部、ベトナム国境に程近い紅河ハニ族イ族自治州、他撒村、他撒小学校にたどり着きました。高速道路のなかった頃は2日間かけて行く道のりですが、今では紅河沿いの高速道路がベトナム国境へ向かって半分ほど完成しています。紅河は大理を源流としベトナムへと流れています。小学校に向かう車中からは、雲南発のベトナム行き列車も見えました。



学校のすぐ横には壮大な棚田が広がっている

シャンシャン！という楽器とともに、整列したたくさんの子供達がアーチを作り、元気に一行を迎え入れてくれます。この村には、5450人の村人が生活していて、他撒小学校のすぐ横には目を見張るほどの美しい棚田風景が一面に広がっています。外部からのお客さんに慣れないせいか、子供達は不思議そうな目でニコニコと私たちを眺めていました。民族衣装や民族帽子、寄付された衣服など思い思いの格好をしています。

人々の平均年収は650人民元(1人民元=13円で換算すると8450円)。国家の指定する特別貧困地域に属します。

紅河他撒小学校が設立されたのは1952年。クラス数は9クラスで、1年生～6年生までのハニ族児童410名が学んでいます。そのうち80名が児童寄宿舎に生活する、半寄宿制学校です。教職員は18名。

私たちは校舎や校庭、宿舍を視察しましたが、同行した会員で建築家の高橋さんは、「こんなに危険な校舎で子供が勉強しているのは日本では考えられない、いつ崩れてもおかしくないですね。」と話していました。また、雑然とした宿舍兼図書室に児童が雑魚寝状態で夜を過ごす様子の説明も受けました。

小学校の新校舎建設は6月6日、無事に着工を終え、11月の完成・開校式を予定しています。完成まで、引き続き小学校の状況や児童たちの様子をお伝えしていきます。



図書室兼用の男子宿舍 地べたにうすい布団一枚で寝ている



P.4の連載「雲南を彩る25の星」で、僕たち「ハニ族」の紹介をしています。あわせてご覧ください！

第5回 2004年度定時総会

早いものでNPO法人 日本・雲南聯誼協会も設立5周年を迎えようとしております。皆様からの変わらぬご支援、ご協力には改めて感謝申し上げます。節目の第5回となる定時総会を以下の通り開催いたしますのでご案内させていただきます。総会では、日本雲南聯誼協会の昨年度の活動報告・会計報告を行い、終了後はささやかな会食を予定しております。ご多忙のところ誠に恐縮ですが何卒ご出席の上ご審議を賜りますようお願い申し上げます。

日時：2005年6月25日(土)18:00～19:00
場所：八王子学園都市センター 東京都八王子市旭町9-1
八王子スクウェアビル12F 第3,4セミナー室
Tel. 03426-46-5611

※右地図をご参照ください。JR八王子駅北口前・京王八王子駅より徒歩5分
※会食の実費用(5000円程度)を当日会食席上にて徴収いたします。



雲南環境プロジェクト



雲南省昆明市でん池管理局 研修団来日
2004年12月10日(金)～24日(金)

雲南省昆明市にあるでん池(昆明湖)管理局のエンジニア7名が来日、研修を行いました。地球規模で大きな問題となっている環境問題、そして、私たちが生きていく上で欠かせない水ですが、昆明市では発展に伴い、ここ数年、市内でん池の水質汚濁がたいへん深刻な問題となっています。当協会では、昨年度よりでん池管理局に協力する形で日中両国でセミナーを開催しています。今回は、農業由来の汚染対策としての「不耕起栽培」技術の日本の実践状況等を勉強するために、長野県などを訪問しました。当協会顧問で、長野県県議会議員の宮澤敏文様のご尽力により、長野県農政部がセミナー・実地研修をご用意くださり、でん池のエンジニアたちにとっては非常に大きな収穫となりました。

また、長野のほかにも東京では当協会会員で信州大学教授の中本信忠先生の水の浄化に関する講義、滋賀県で琵琶湖研究所を訪問、霞ヶ浦では社団法人霞ヶ浦市民協会の皆様にご協力いただき、それぞれがどれも充実した研修内容となりました。

お世話になりました皆様には心よりお礼を申し上げます。

霞ヶ浦インフォメーションセンターにて

事務局での中本先生の講義



主な研修先・協力者・協力機関

長野県県議会議員 宮澤敏文様
(日本・雲南聯誼協会 顧問)
長野県農政部 様
長野県農事試験場 様
株式会社市野屋商店
(日本酒蔵元) 様
社団法人 霞ヶ浦市民協会
霞ヶ浦インフォメーション
センター 様
滋賀県琵琶湖研究所 様
信州大学 中本信忠教授
(日本・雲南聯誼協会会員)
本城久司様・高橋真様・曹光様
(日本・雲南聯誼協会 顧問)



農事試験場にて不耕起栽培技術の実演説明



宮澤敏文顧問(前右2)とともに記念撮影

昆明大学学長来日

2005年3月27日～4月3日、昆明大学の岳懷仁学長以下5名が来日、中央大学や東海大学を訪問しました。今後、日本の大学との交流を進めていくための第一歩として、大学施設見学、カリキュラムや国際交流センター概要などを視察しました。来日したのは折しも日本の一番美しい季節。来日団はお花見文化にも触れることができ、大変感動していました。

今回の来日にあたり、中央大学・島田修一教授(当協会会員) 東海大学・村松健児教授(当協会監事)・東北芸術工科大学・松本年史教授、伊豆旅行を企画・同行してくださった片岡巖顧問、また、お花見懇親会の場を設けてくださった大陸共同メディア(株)の皆様、そして北原脳神経外科の北原茂実理事はじめ皆様、多くの方からのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

当協会では、今後も教育分野の日中交流のお手伝いを積極的にしていきたいと考えております。



左)昆明大学岳学長
右)村松健児監事 東海大学にて



角田邦重中央大学学長(中央)とともに 右端)島田修一教授(当協会会員)

ニハオ!

昆明事務局です

連載

Vol.1 『小出和夫会員の昆明事務所訪問記』

昆明事務局

一昨年、昆明事務所を設置して以来、協会の現地での活動や、会員が雲南訪問した際の手配・通訳、現地の情報提供等、大活躍しています。遠く日本を離れた会員たちにとって心強い存在になっています。会員のみなさん、現地でなにかありましたらぜひ協会ですることは協力しますのでお声掛け、お立ち寄り下さい。

現地常駐スタッフ

・林娜(群馬大学卒業・8年間の留学経験で日本語が堪能です。)
・二見由紀(日本新潟出身・英国留学経験あり英語と中国語が堪能です)

去る4月12日、留学先の雲南大学宿舍から近い昆明支部を訪ねました。

事務所では、趙東明さんがとても流暢な日本語で応対して下さい、驚きました。電話を受けて下さった林娜さんは、丁度日本から来昆明中の会員(真砂氏)を案内に連れ出し、すれ違いになったのは残念でした。しかし支部からの帰路、翠湖公園近くのある日本料理店で、その二人と偶然にも遭遇する幸運に恵まれました。4月15日夕は、お二人が当地の“僑聯”“委統戦部”の幹部の方々と会食する席に私もお相伴にあずかりました。“僑聯”の狄主席はじめユーモアに富む楽しい人達ばかりで、さらに途中から、初鹿野理事長のご令姉丁美蘭さんも駆けつけて下さり、一層盛りあがりました。

私は趣味で中国語を勉強し、雲南の気候・人情・風光に魅せられて、この5年間毎年1～2回短期留学に訪れ、名勝探訪も楽しんでいる老生です。昆明支部は現地での諸活動のほか、日本人会員のどんな個人的相談をも援助して下さいとのことで大変心強い。

私は入会未だ2年目のささやかな一会員に過ぎませんが、協会の発展と昆明支部のご活躍を心から願っています。(小出和夫・日本雲南聯誼協会会員)

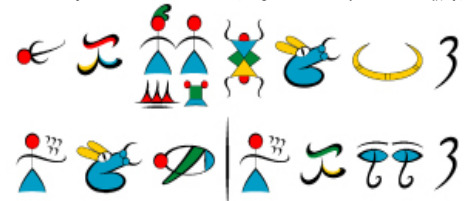


会食の場で 中央 小出会員

愛と友情のトンパ文字

定価：1764円 全国の書店・当協会事務局にて発売中

文字のトンパ文字は、ふわっとしたユーモラスな文字で人に強い印象を残します。トンパ文字の全てのデータの入ったCD-R付きです。古代から伝わる和やかで暖かいこの文字を、デザイン・インテリアに使えば、忙しい現代生活に自然の安らぎを与えてくれます。ぜひ、この機会にお買い求めください。



←「彼に新しい恋人ができ、私は失恋して泣いた。」

「兄と弟は普段は仲が良いのだが、時々食事のことで喧嘩する。」



発行 (株)技術評論社 (編集協力 NP0 法人日本・雲南聯誼協会)

※この書籍の売上金の一部は日本・雲南聯誼協会に寄付されます。





杉谷隆志専務理事

墨 美 展

2005年5月3日、東京は銀座にて開催された墨美展パーティーに初鹿野理事長と片岡巖顧問、事務局の七田怜さんが出席しました。墨美展を主催する墨美会は当協会専務理事で墨絵画家の杉谷隆志先生が代表を務める墨絵団体です。

今回、会員の近藤銀一さんは、墨美展に作品を出展され、自ら日本・雲南聯誼協会のために会場でチャリティー募金活動も行ってくださいました。

昨年の国際協力フェスティバルでも、遠く愛知からボランティアに駆けつけてくださったりいつも協会に大きな貢献をしてくださっている近藤さん。本業は中学校の先生をなさっていて、日本の子供と同様、雲南省の子供達に対する愛情にも満ち溢れた素敵な先生です。



近藤会員が展示会会場行ったチャリティー活動



作品の前で 近藤会員

チャリティーによる収益は全て近藤会員から協会にご寄付いただきました。ありがとうございます。

■杉谷専務理事のご紹介■

1928年神戸市に生まれる。40歳代はじめに日本墨青会事務局長兼教授として墨絵の全国的な普及と指導に尽力。1982年に「日本百景墨絵展」を上海で開催。日中友好芸術交流の架け橋を築く。その後は日本と中国を行き来し、墨美会を設立して会長に就任、中国との芸術交流を深めている。当協会設立当初より、専務理事に就任する。

杉谷専務理事は理事会開催時には毎回必ず茅ヶ崎より参加してくださり、当協会に対してはいつも貴重なご意見や温かい励ましのお言葉をくださいます。

第2回 ～子どもたちの未来のために～ ネイチャーフェスティバル

※このロゴマークはフェスティバル実行委員会からご提供いただきました。感謝！<http://www008.upp.so-net.ne.jp/kitasagami/nf/>

2005年4月30日、ゴールデンウィーク初めの土曜日、神奈川県川崎の新鶴見操車場跡地で開催された「第2回ネイチャーフェスティバル」に日本・雲南聯誼協会が参加・出展しました。

このフェスティバルはふるさとの森をつくり、川崎市民の水源地である上流部の森を再生することをテーマに、行政や企業の協力を得て開催する市民のイベントです。当日は快晴。風が強かったものの、来場者もたくさん訪れ、協会ボランティアスタッフは元気に声をだし、雲南のアピールと雑貨販売を行いました。当日のボランティアには雲南省からの留学生もいたため、来場者の方から雲南についての質問も多く、雲南省と協会の活動に対する関心の高さを感じることができました。



チャリティーバザー（雲南雑貨）売上げ合計 20,800円

★ 非常感謝！SpecialThanks ★

特に、フェスティバル参加に当たっての手続きやアドバイス、荷物運搬等で JR 総連の山下信二様、糸山敏和様、神立めぐみ様等の皆様には大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。当日の協会ボランティアの皆様も、都内各地から朝早く本当にご苦労様でした、謝謝！

小学校開校式参列と5周年記念懇親会ツアー

初鹿野理事長と共に協会支援第6,7校目小学校の開校式へ参列し、教育支援現場で子供達の笑顔に出会いませんか？

今回のツアーでは、日本・雲南聯誼協会設立5周年を記念し、昆明にて、これまでお世話になってきた雲南省側の各関係者も集まり、交流を深めます。また、世界文化遺産「麗江古城」、大理石で有名な「大理」の観光も含む贅沢な内容となっておりますので、ぜひこの機会に皆様ご参加ください。



◎旅行期間：2005年8月7日(日)～8月14日(日)（7泊8日）

◎行き先：中国雲南省昆明・麗江・大理
怒江リス族自治州（6校目:貢山県丙中洛・7校目:福貢県）

◎旅費：238,000円
（1人部屋追加料金 20,000円）

8/7の朝食以外のお食事がつきます。

◎定員：35名（定員になり次第、締め切らせていただきます。）
※お申し込みお問い合わせは協会事務局まで。

日次	月日	都市名(発/着)	時間	交通機関	摘要	宿泊地
1	8/7(日)	成田～広州～保山	09:50発 13:25着 15:50発 19:15着	NH923 広州(国内線乗換) CZ3477 保山	着後、 専用バスにて蘭都飯店へ	保山泊
2	8/8(月)	保山～福貢		専用バス	朝、福貢へ(約7~8H) 7校目小学校開校式に参加	昆明泊
3	8/9(火)	福貢～丙中洛～福貢	07:10発 07:39着	専用バス	朝、丙中洛へ(約4~5H) 6校目小学校開校式に参加	福貢泊
4	8/10(水)	福貢～保山～大理		専用バス	朝、大理へ(約9H)大理古城観光	大理泊
5	8/11(木)	大理～麗江		専用バス	朝、大理観光:大理～麗江(約3.5H)	麗江泊
6	8/12(金)	麗江～昆明		国内線 MU5815orMU9452	午前、麗江観光:お昼、昆明へ移動。協会設立5周年記念懇親会	麗江泊
7	8/13(土)	昆明		専用バス	朝食後、終日昆明観光:西山龍門、石林、華亭寺観光	昆明泊
8	8/14(日)	昆明～広州～成田	08:15発 10:00着 14:55発 20:00着	CZ3420 広州(乗換) NH604 成田着	朝食:ホテル お疲れ様でした!	

「彩雲の南」に広告を掲載しませんか？

日本・雲南聯誼協会会員並びに関係者の方々に対して、「彩雲の南」誌上にて御社の広告を掲載し、大きなアピールをしてみませんか？広告費は会報制作、印刷、発送費になるとともに当協会の活動運営資金の大きなサポートとなります。ぜひ多くの方々・法人からのご協力をいただきたく存じます。

＜日本・雲南聯誼協会『彩雲の南』データ＞

●発行部数 5000部

●発行形態 5回/年 7月・9月・11月・2006年1月・2月(予定)

●版型 A2つ折り(版型A3タブロイド版4頁)

●印刷形態 4色

●掲載料金 基本形 270mm×70mm(天地×左右) 35,000円

●配布方法 無料で協会会員・協力者・中国関連旅行社等に配布

※広告掲載の詳細については当協会事務局までお問い合わせください。





第2回 雲南省少数民族児童のための チャリティーコンサート 彩雲の南～いのち輝くとき～

日時: 2005年7月9日(土) 開演14:00(開場13:30)
会場: 立川市女性総合センターアイムTel. 042-528-6801
入場料: 2000円(小中学生1000円、幼稚園以下無料)
主催: NPO法人日本雲南聯誼協会・チャリティーコンサート実行委員会
後援: ㈱技術評論社、(有)ブルーストーンネットワーク

現在、目覚ましい発展を続ける中国ですが、その反面、雲南省には貧しさゆえ、教育の機会にさえ恵まれない子供達もたくさんいます。「NPO法人 日本・雲南聯誼協会の活動に音楽という形を通じて協力したい!」そんな気持ちで今回、ソプラノ歌手の高山千代美さん(当協会会員)、ピアノ奏者永瀬純子さんがこの度チャリティーコンサートを開催する運びとなりました。プログラムは中国の愛唱歌から日本の歌等多彩な内容になっています。

<お問い合わせお申し込み> 日本雲南聯誼協会事務局までお問い合わせください
※ 収益金は雲南省貧困少数民族児童への教育支援金とさせていただきます。

東巴日中カレンダー2006

トンパ文字は、中国雲南省麗江の納西族に伝わる象形文字です。現在でも生きて使われている象形文字としては、世界で唯一のもので、「世界無形遺産」に相応しいものでしょう。このトンパ文字を主題にして、東巴画で有名な画家2名による作品集となっています。麗江で活躍している和品正先生、大理で活躍している趙有恒先生です。特に、日本では初めての東巴画カレンダーとして話題を集めています。日本人はじめ世界中の観光客に人気スポットである「麗江古城」(世界文化遺産)をはじめ雲南省には、観光客を魅了する観光資源が数多く存在します。その題材を写真ではなく、2人の巨匠の東巴画にしたところに、このカレンダーの特色があります。世界で初めての作品です。当協会のロゴ入りのカレンダーを、限定500部で販売いたします。

なお、売上げの半額は当協会の教育支援活動資金として使われます。

価格: 1部 1800円
会員価格: 1部 1500円

★法人の皆様★

御社の名前の刷り込みを承ります。広く宣伝にご利用いただけます。

一括注文価格

200部以上 1部1500円
500部以上 1部1300円

制作: (株)技術評論社

トンパ文字「愛する人」



雲南を彩る 25の星たち

連載① 『哈呢(ハニ)族』

「雲南を彩る25の星」では、雲南省で生活する25の少数民族一つ一つにスポットを当て、順番に紹介していきます。

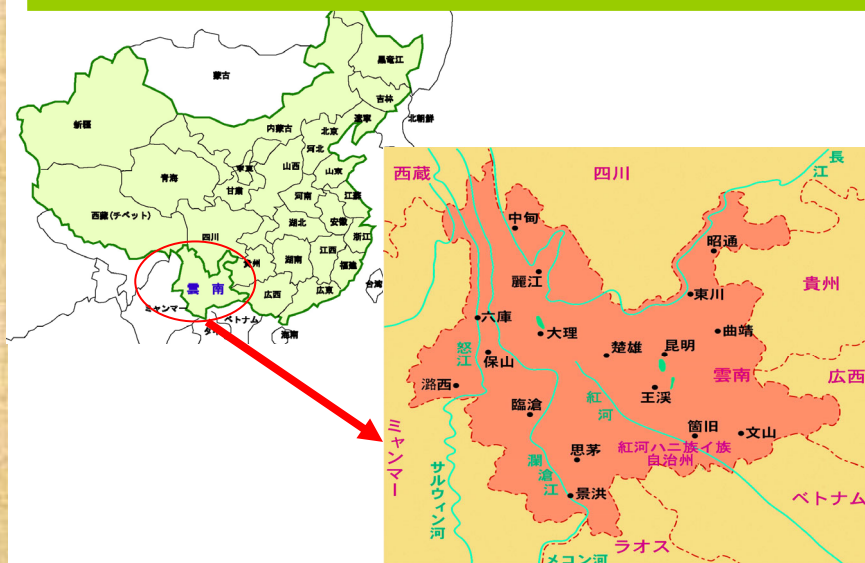
雲南省の少数民族としては二番目に多く、広西壮族自治区、貴州省、タイ北部などにも住んでいる。

彼らの居住区の一つ、元陽にある棚田は、朝日が昇ると光を照り返し輝く、その美しい景色で有名。

ハニ族という名称は、1957年に中国政府から周辺諸民族を総称して与えられた名称であり、住む地域が違えば、同じハニ族でも言語や服装、習慣や文化が違う場合が多い。

概ね、ハニ族は男女とも黒を基調にし、女性は色鮮やかで、男性は地味な服を着ている。老若男女にかかわらず歌と踊りを非常に好み、伝統的な祝日である旧暦6月24日の「松明節」では、歌舞や相撲などを催し、楽器をかき鳴らす。2000年の人口調査では約144万人。当協会支援第8校目に決定した他撒小学校(参照P.1)の児童たちはハニ族です。

ご存知ですか? 雲南省の位置



雲南省は中国最西南部に位置し、ミャンマー・ラオス・ベトナムと国境を接しています。

面積: 約39万平方キロメートル(日本とほぼ同面積)

人口: 約4300万人

面積の94%が山地で、海拔76mの鎮南河口から6740mの梅里雪山という高山も存在する地域。省都は常春の都「昆明」。

少数民族児童への教育支援活動をサポートしませんか?

NPO法人 日本・雲南聯誼協会では、雲南省貧困少数民族への小学校建設を柱とした教育支援活動を行っております。詳しいパンフレットや会報バックナンバーご希望の方、入会のお申し込みについては協会事務局までお気軽にお問い合わせください。

●会費一覧●

正会員 500円/月(年額6000円)

賛助会員 1000円/月(年12000円/1口)

法人会員 1500円/月(年18000円/1口)

○●原久子先生のご紹介○●

当協会法人会員である原アカデミーと共に、代表原久子さん自身も第5校目開校式への参列をはじめ、いつも温かいご協力をいただいています。



幼少の頃からの虚弱体質を呼吸法と瞑想によって克服。高橋信次氏に師事し、心の世界に開眼する。以来心と体と魂の浄化・開発を目指す研究に取り組んでいる。武蔵野音楽大学卒、東京高等鍼灸学校卒。東洋医学の治療家として臨床研究を重ねる傍ら、独自のヒーリング法と心の浄化を通して、理想・希望が実現するスーパーメソッドを考案する。現在、原アカデミー代表、ソフィアアカデミー代表。名誉心理学博士

(U.S.A.) セミナーや講演活動を行い、日本の精神世界の指導者的立場にある一人として知られる。

著書に「呼吸を変えれば人生に奇跡が起こる」(ロングセラーズ)「運が良くなる心の法則」(廣済堂出版)「足を温めて健康になる」(実業之日本社)「奇跡のヒーリング呼吸法」(講談社)等、他15冊。

一呼吸法と瞑想を通して真我に出会うー

【原久子の瞑想・呼吸法セミナー】

私たち人間が生活しているのは『三次元の世界』ですが、心は“異次元”の世界にあるのです。三次元で実現することは異次元(心の世界)でいったん思ったり、感じたり、想像した結果なのです。これは心の法則なので、私たちが常日頃、心の中で何を思い、どう感じるかによってその人の運命はプラスの方向にもマイナスの方向にも展開していくのです。つまり、感謝や喜びの心で生活をしている方は、感謝や喜びのある人生が展開され、不安や恐れ、不満の心で生活しているとマイナス的な事に翻弄してしまうことになりかねません。皆様方の理想・希望が実現する方法がこの瞑想・呼吸法セミナーにあります。瞑想・呼吸法セミナーでは、毎回、原久子の講和と瞑想・呼吸法を行っていきます。正しい瞑想呼吸法を実践していただくことによってどなたでもアルファ波の脳波が出るようになっていきます。

【日程】PM1:15~PM4:45(12:50~受付開始)

2005年(瞑想のテーマ)

6月25日(土)自己ヒーリング呼吸法・マントラ瞑想

7月9日(土)五体投地の呼吸法・希望実現瞑想

8月6日(土)自己ヒーリング呼吸法・満月瞑想

【セミナーの内容】 原久子講話・ストレッチ・ヒーリング瞑想テーマ別瞑想・呼吸法・質疑応答他

※1回体験5000円 ※お問い合わせ・お申込みは原アカデミー事務局まで。

原アカデミー事務局

167-0053
東京都杉並区西荻南 3-8-16-805
Tel03-3335-1170 Fax03-3335-3202
e-mail: office@hara.ac
http://www.hara.ac